

# JR東海労なごや

2018年1月17日 No. 1096

JR東海労名古屋地方本部

発行者：山田哲也

編集者：教宣部

JR東海労名古屋地本

## 2018年新春旗開き開催！

1月16日、金山「れあろ」において、名古屋地本は、組合員、OB、来賓、約40名の参加により2018年新春旗開きを開催し、闘いの新たな決意を固めました。



### 山田委員長より年頭のあいさつ

安倍政権による憲法改悪が今年は具体的に進められてくる。5才の子供が、保育園でミサイルの警報が出たら隠れることを教えられている。戦前を思い出す事態である。北朝鮮のミサイルの脅威から、国民の生命と財産を守るための「憲法改正」と「軍備の強化」が必要であると、世論形成が作り出されている。

このような事態を見ると怖い思いがする。私たちは、自由で平和な民主的な社会を守るために闘う労働者・市民との連携した闘いが必要であり、今年は平和を守るための正念場の年である。

さらに、職場では、年休が出ず失効してしまう問題が発生している。年休失効裁判の闘いに対して、会社より厳しい攻撃がかけられてくるが、JR総連の仲間と連帯し、一致団結して今年一年闘いましょう。



### 小林本部委員長あいさつ

私たちの仲間が亡くなっている。健康だけは注意してほしい。今年の私たちの課題は、①. 平和・人権を守ることである。憲法改正の発議が出される。若い人達に平和を語れる己になる。②. 安全確立の闘い。のぞみ34号の重大な事故があったが初めての事故ではない。名古屋で止めたのはセンサーではなく人間の判断であった。③. 2018春闘は労働条件改善であり年休が取りづらい現実に対しての私たちの闘いは、他企業で休めない労働者にも共感を与えている。④. 私たちは、将来どのような組織を目指すのか。色々な形態があっても良いのではないかと闘う課題を受けました。



そして、山田委員長より、昨年退職した吉田隆夫さんへ激励品の贈呈を行い、その後、JR東海労として新幹線関西地本の仲間が中心となって創り出してきた中国平和研修の歴史と、昨年10月に実施された20周年の平和研修の報告がなされ、2018年新春旗開きを終了しました。

旗開き終了後は、美味しいお酒を飲みながら、組合員・OBの懇親を深めました。